

2024 年(令和 6 年)

# 年次報告

## 子どもの状況

2023 年 チャイルドラインとちぎのデータから



(認定)NPO法人チャイルドラインとちぎ

# はじめに

2024年1月1日、正月を迎えた温かな日常に、突如として災害という冷酷な試練が訪れました。能登半島地震に被災された方々に、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。被災地域における心理的経過に、茫然自失期・ハネムーン期・幻滅期・再建期、という心の動きがあると言われています。復旧・復興を願いながらも、子どもたちがこの状況を話せるその時のために、私たちは居場所を作り続け、寄り添い、一緒に考え続けたいと思います。

子どもたちを取り巻く環境は、残念ながら悲観的なものに溢れています。ロシアとウクライナの紛争だけでなく、ガザ地区での紛争も激化。このような紛争で犠牲になるのは未来を担う子どもたちという、厳しい現実。国内に目を向けても少子高齢化に伴う諸課題に制度や仕組みが後手を踏む。子どもたちを育む子育て世代が本当に楽しんで、幸福感や充実感を伴って子育てや人生を謳歌しているのか、改めて問い直しビジョンを示す時期にきていると強く感じています。

2023年に理事長職をお預かりして約1年。私には強い危機感があります。それは、「今のままのチャイルドライン」で子どもたちの支えになり得るのか、ということ。23年目を迎えるチャイルドラインとちぎ、そして支援センターや全国のチャイルドラインは、今一度時代を踏まえて変革する必要を感じています。子どもたちが直面している環境や悩みに、真に寄り添うためには、まず私たちがもう一步踏み出さなければならぬと思うのです。対岸の火事のように、社会や子どもたちを論じてボランティア活動にふける自己満足では、子どもたちの心に寄り添うとは言えないのではないか、自問自答を続ける日々です。

私たちの事業も組織の再活性化に舵を切ってきました。中心世代の若返りを図り、ベテランは中心世代を支えるという組織へのシフト。子育て世代を支えるように、私たちの組織も中心世代を支える仕組みづくり。また、電話やチャット、さらには「つぶやき」と子どもたちとの接点をアップデートしていく。そして、日々の研鑽や交流としての「研修」についても、より良いものに変えていく努力が必要です。

私たちチャイルドラインは、「子どもの声を受けとめる＝受け手」そして「その声を社会に発信する＝会員」という大きな2つの柱と役割を担っております。そして、多くの皆さまからのご理解やご支援によって子どもたちに寄り添うことができいております。改めてこの場を借りて御礼申し上げます。

皆さまからのご支援に答えるためにも、「受け手」として自身を磨くと共に、「会員」としてこの活動を支え、広く一般の方々に子どもの声を届ける。子育て世代が、「安心できるな」「私ももっと社会で活躍・活動したいな」と感じてもらえるような社会活動を継続できるよう歩みを進めて参ります。

2024年度も、よろしくお祈りいたします。

認定 NPO 法人 チャイルドラインとちぎ  
理事長 福本 佳之

# I

## チャイルドラインとちぎが受けた電話

2023 年 1 月 ～ 2023 年 12 月

本報告書は、全国統一フリーダイヤルとオンラインチャットで他県の実施団体と連携して受けているため、「Ⅰ. チャイルドラインとちぎが受けた電話」と「Ⅱ. チャイルドラインとちぎがオンラインチャットで受けた子どもの声」「Ⅲ. 栃木県の子どもがフリーダイヤルにかけた電話」「Ⅳ.子どもの声」に分けて作成しました。

栃木県内からの電話は優先的に「チャイルドラインとちぎ」に着信しますが、話し中の場合は、全国どこかのチャイルドラインにつながるようになっています。

チャイルドラインの電話ではあえて性別を聞きません。そのため年齢については受け手の判断がデータに反映されています。半面オンラインチャットでは、あらかじめ年齢と性別を可能であれば記入してもらってからつながるような設定になっています。

2023 年 8 月に(毎週月曜日の 16 時～18 時 30 分まで)「ネット電話」を開設しました。開設団体も少なく広報も行き届いてない状態です。Wi-Fi 環境があれば無料で電話のように声でつながるネット電話が、今後子どもたちに周知されて開設日を増やすことが出来ればいいと考えています。

## 電話開設状況

○実施日 2023年1月～2023年12月 毎週月曜日・金曜日・第2日曜日・第3土曜日  
16:00～21:00を3シフト制で実施

※ネット電話の開設日 8/21・8/24 以後毎週月曜日 16時～18時30分

※全国キャンペーン参加 8/28

○人数 受け手 62人 年間延べ 789人 支え手 13人

○開設 年間日数 126日 開設時間 630時間 (2回線)

○件数 年間件数 6,371件(会話成立 1,416件) ※大人・妨害電話を除く

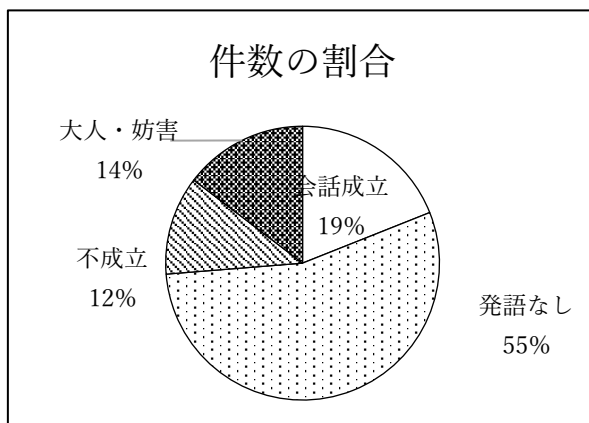
1時間平均 10件 (会話成立約 2件)

1件あたりの平均通話時間 17分

### 1. 通話の概要

総着信件数 6,860件(大人・妨害を含む)

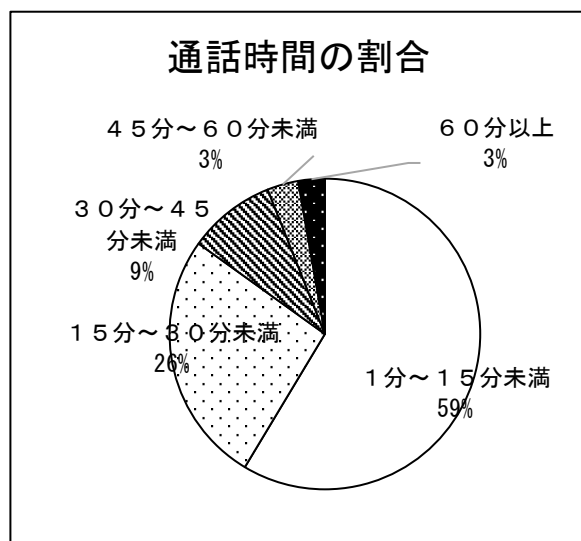
	件数	通話(分)	平均通話	件数の割合
会話成立	1,416	24,102	17.0分	19%
発語なし	4,085	2,291	0.6分	55%
不成立	870	1,525	1.8分	12%
大人・妨害	1,091	2,881	2.6分	14%
全体	7,462	30,799	4.1分	100%



### 2. 通話時間(会話成立)

会話成立のうち通話時間では 15分未満は 59%で一番多くなっています。

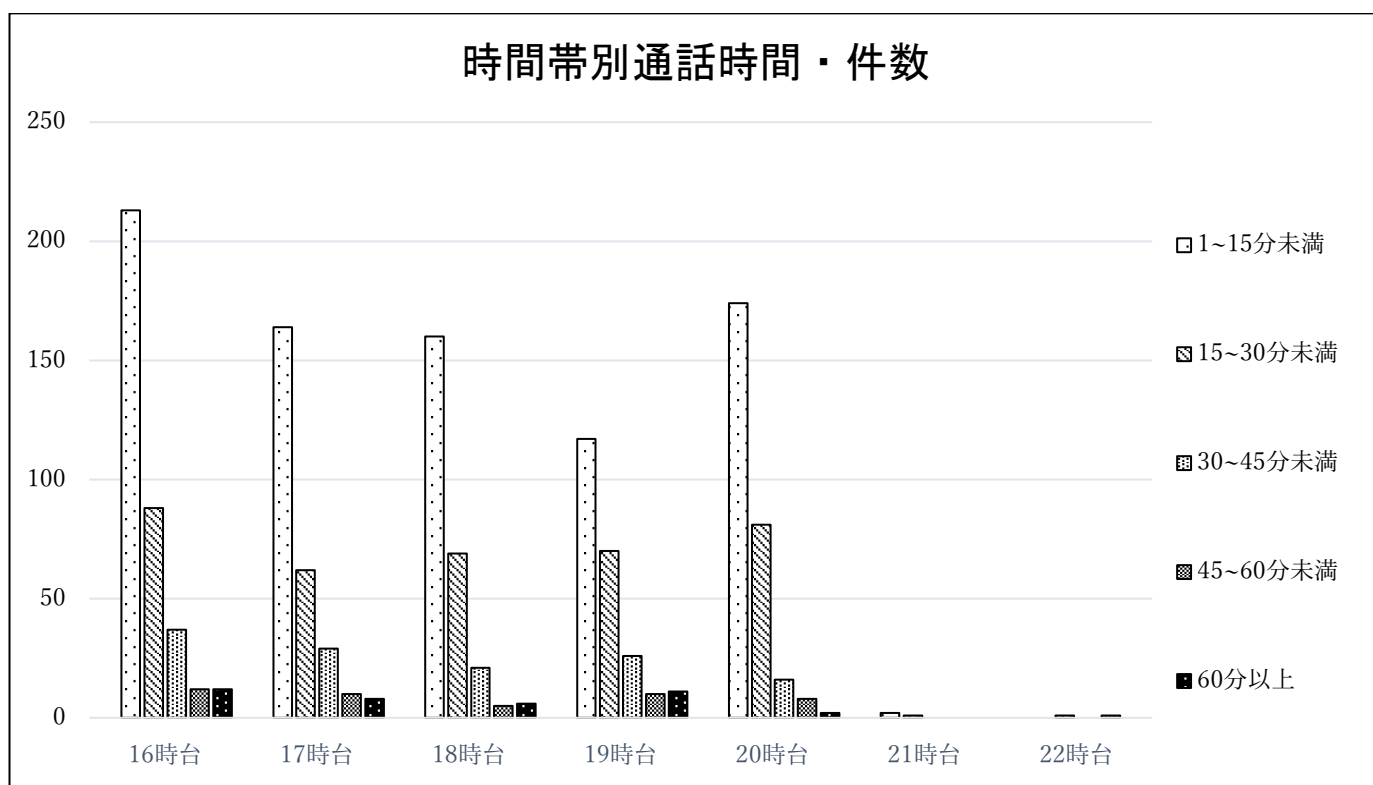
通話時間	件数
1分～15分未満	830
15分～30分未満	372
30分～45分未満	129
45分～60分未満	46
60分以上	39
合計	1,416



### 3. どの時間帯にかけられているか

件数については16時台の電話件数が最も多く、平均通話時間は19時台が長くなっています。11月24日に「24時間ずっとつながるチャイルドライン」キャンペーンに参加したため、21時22時23時台の電話を受けました。

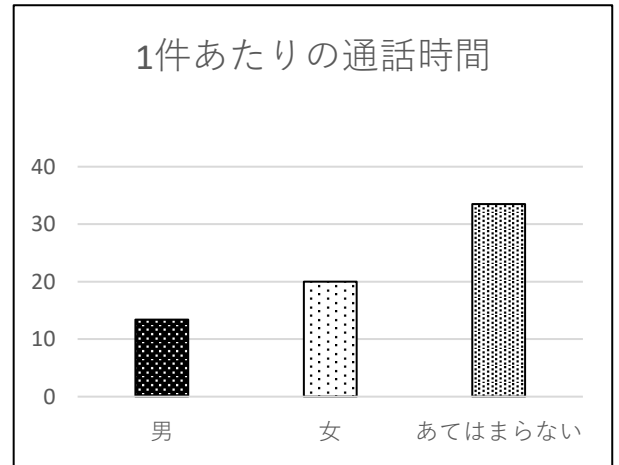
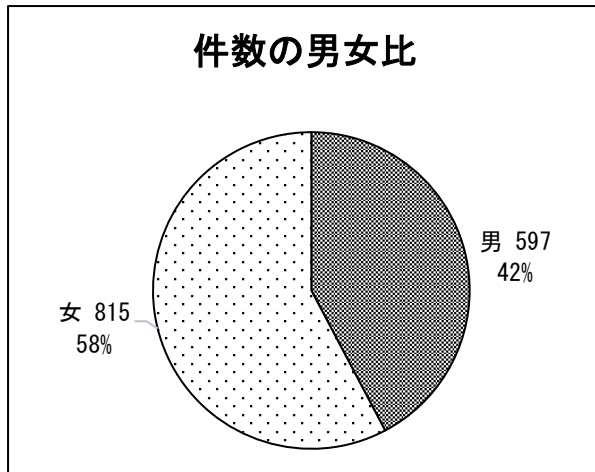
時間帯	通話件数	時間(分)	通話平均(分)
16時台	362	6,184	17
17時台	273	4,760	17
18時台	261	4,168	16
19時台	234	4,740	20
20時台	281	4,158	15
21時台	3	22	7
22時台	1	21	21
23時台	1	52	52
合計	1,416	24,102	17



#### 4. 性別、学齢

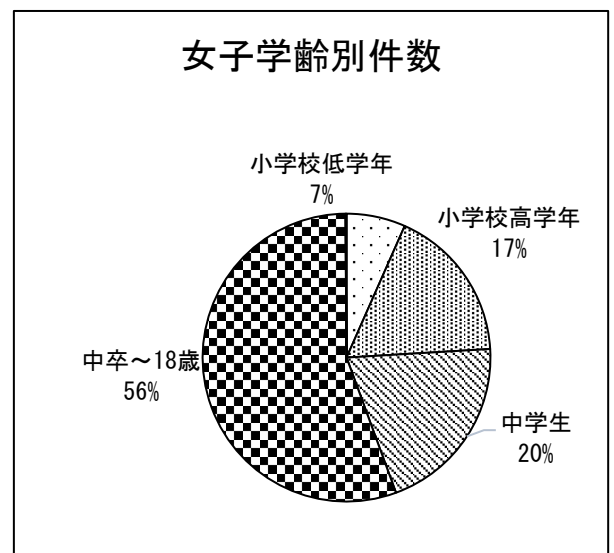
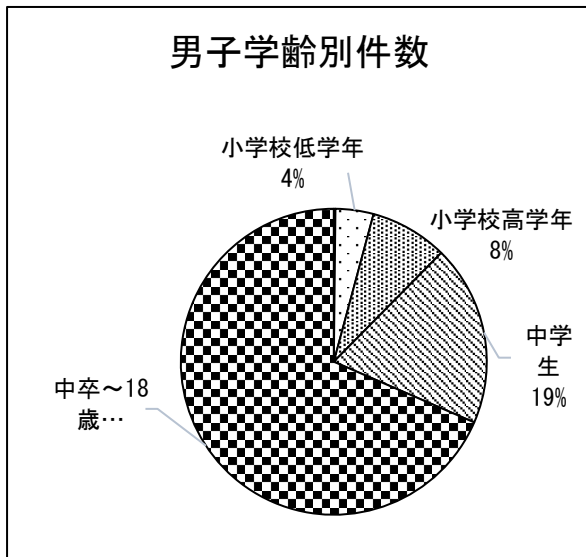
##### (1) 通話時間・件数の男女比

かけ手の性別をみると女子の割合が多く、1件あたりの通話時間の平均についても女子のほうが長く話されています。かけ手の意思でどちらの性別にも当てはまらない電話が4件ありました。



##### (2) 学齢別件数の男女比

かけてきた子どもの学齢では、女子男子共に中学卒業から18歳までの割合が高く、男子は小学生からの電話が少ないようです。年齢に関しては内容などで受け手が判断することもあり大まかな枠組みととらえています。



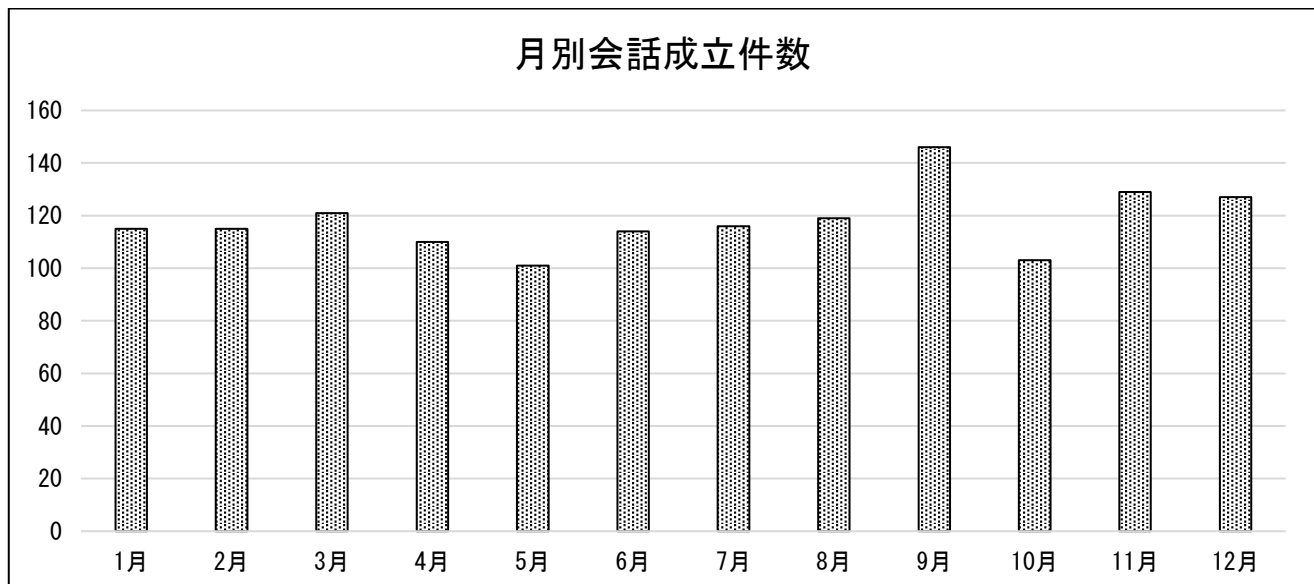
## 5. 月別件数と通話時間の推移

無言や一言などの会話不成立などを除き、月平均の会話成立件数は118件です。年間630時間開設しており、1時間あたりの平均通話件数は約2件です。

1件あたりの平均通話時間は約17分です。開設時間1時間あたりの平均通話時間は2台の電話で受けているため約38分になります。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
会話成立	115	115	121	110	101	114	116	119	146	103	129	127	1,416
不成立	73	53	68	65	77	79	79	91	90	77	77	41	870
無言	412	338	322	272	304	383	373	417	401	385	251	227	4,085
大人(妨害)	80	75	84	100	103	85	113	112	84	78	103	74	1,091
総着信	680	581	595	547	585	661	681	739	721	643	560	469	7,462

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
日/時間	10/50	10/50	11/55	10/50	11/55	11/55	11/55	10/50	11/55	11/55	10/50	10/50	126/630
通話件	115	115	121	110	101	114	116	119	146	103	129	127	1,416
通話・分	1,983	1,940	1,979	2,127	1,916	1,978	2,145	1,902	2,436	1,666	2,002	2,028	24,102
時間(約)	33	32	33	35	32	33	36	32	41	28	33	34	402



会話件数はカード配布時期に一時的に増えることもあるので一概に判断できませんが、進路決断時期の3月、夏休み明けの9月に増えているととらえています。

## 6. どんな内容の電話か

### 男女別主訴別通話件数

性別/主訴	学校	部活	性	家庭	職場	ネット トラブル	地域	自分	合計
男	127	16	47	64	2	6	17	318	597
女	197	13	20	117	4	6	12	446	815
不明	0	0	1	2	0	0	0	1	4
合計	324	29	68	183	6	12	29	765	1,416

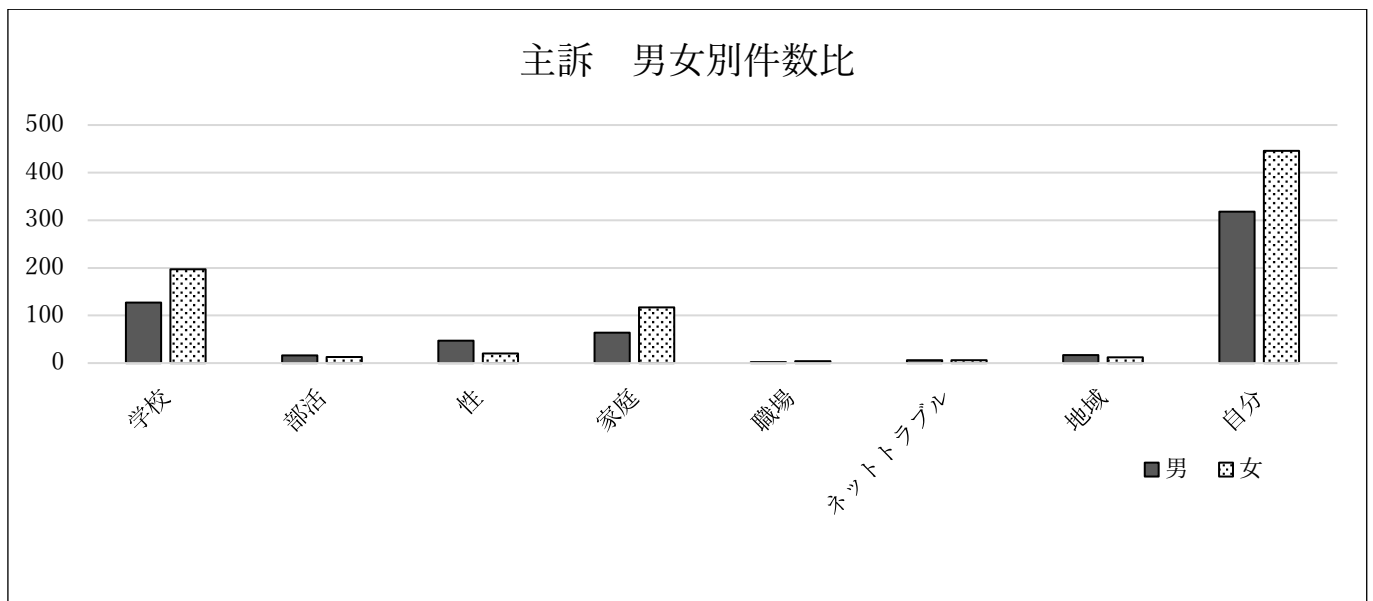
### 男女別主訴別時間(分)

性別/主訴	学校	部活	性	家庭	職場	ネット トラブル	地域	自分	合計
男	1,724	219	609	996	15	76	198	4,165	8,001
女	3,674	216	421	3,204	129	115	182	8,025	15,965
不明	0	0	6	104	0	0	0	25	134
合計	5,398	435	1,035	4,304	144	191	380	12,216	24,102

#### (1) 主訴別・男女別件数と通話時間

男女ともに「自分」に関する内面の悩みが多く、通話時間も長くなっています。自己肯定感が「低く、精神的な障害を抱えて生きづらさを訴える声も増えています。「学校」の中での「人間関係」に悩み「いじめ」を訴える電話は依然として多い状況です。

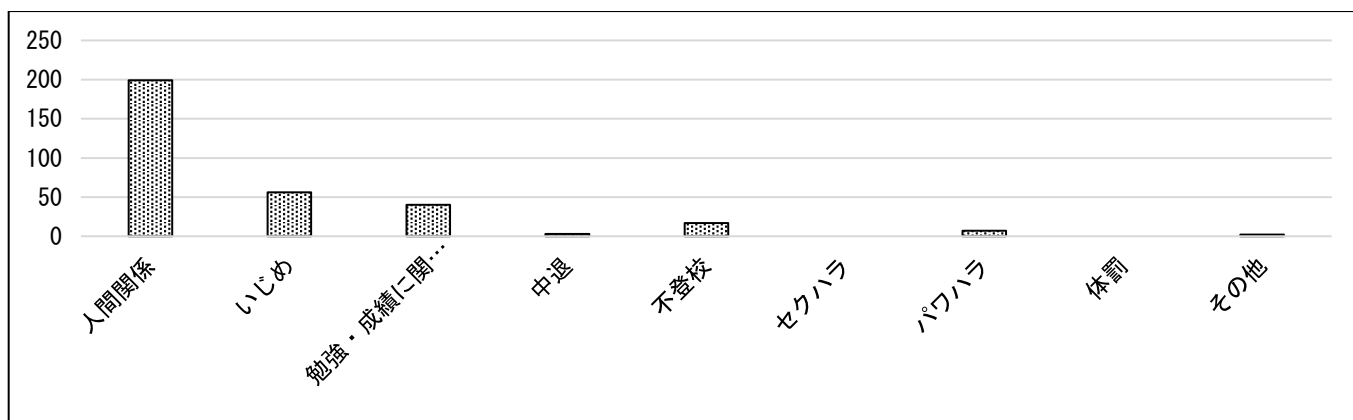
自分の性に違和感をもつ子どもたちの声も年々多くなっています。「虐待」については、犯罪と考えるケースもあり支援に繋げることや対応の難しさを感じます。小学校低学年からタブレットが配布されていますが、「ネットの危険性」についての知識が低いのではないかと感じます。



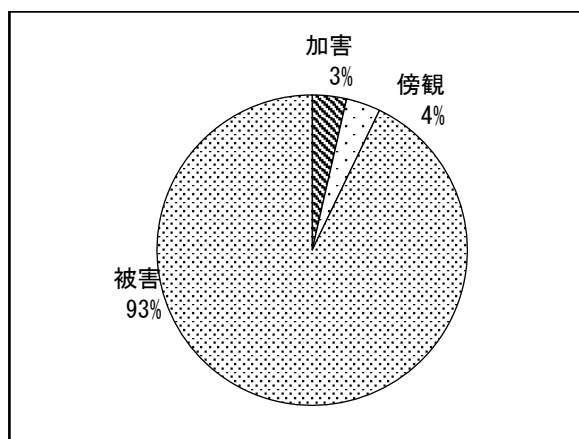


(2) 主訴別・詳細

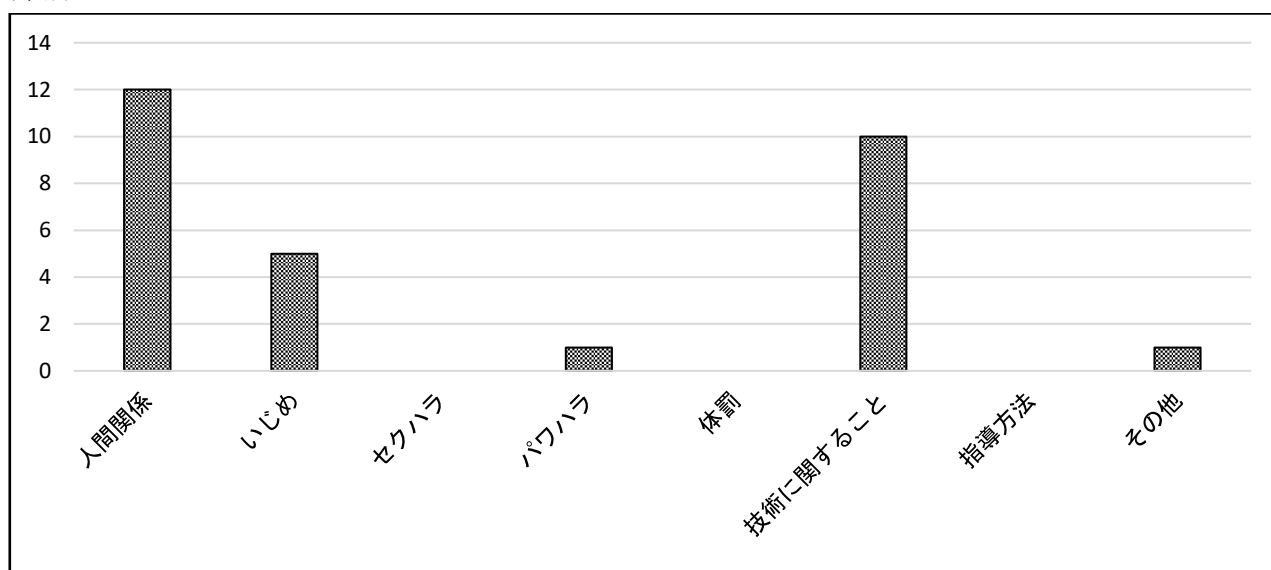
① 学校・フリースクールでのこと



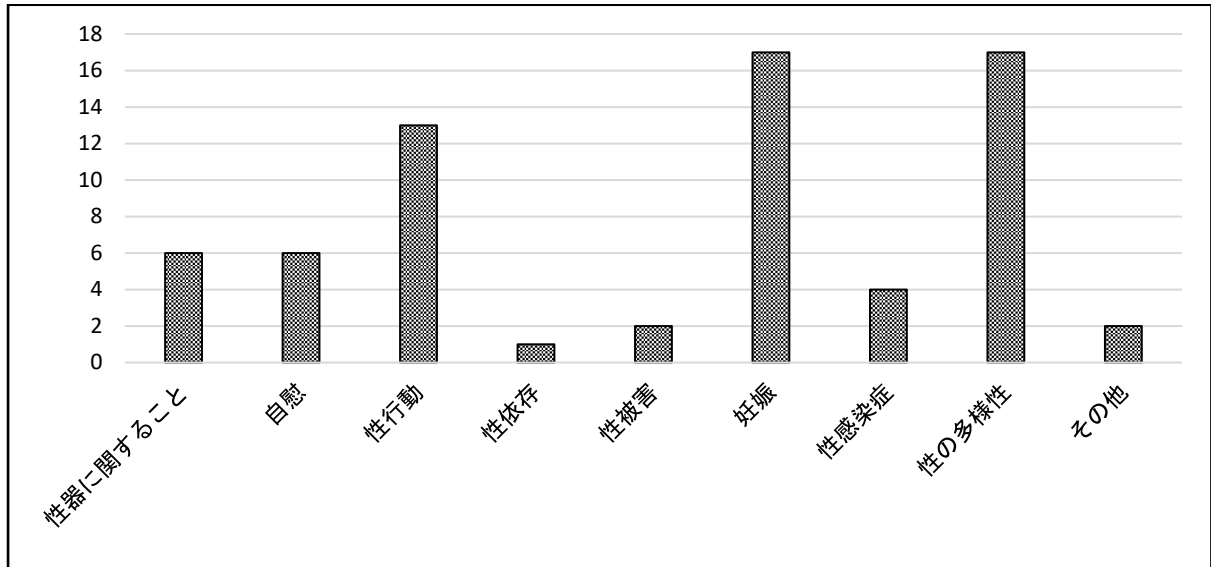
※学校・フリースクールでのいじめに関して



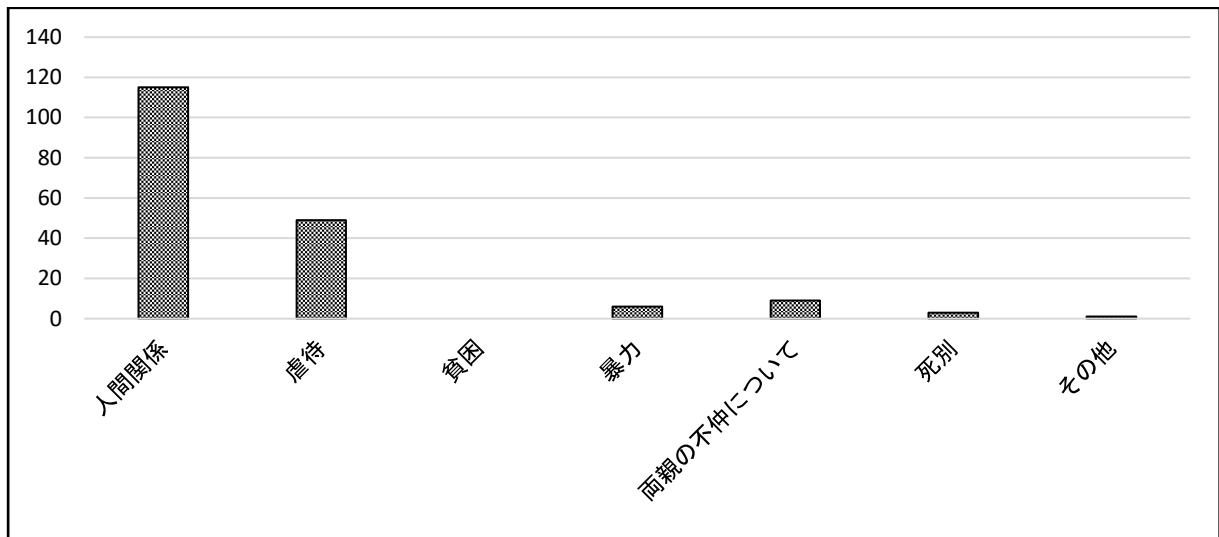
② 部活でのこと



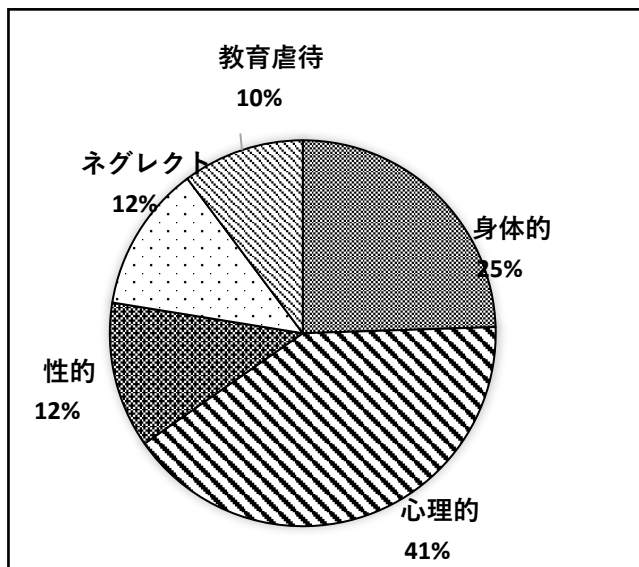
### ③性に関すること



### ④家庭でのこと



※家庭での虐待に関して

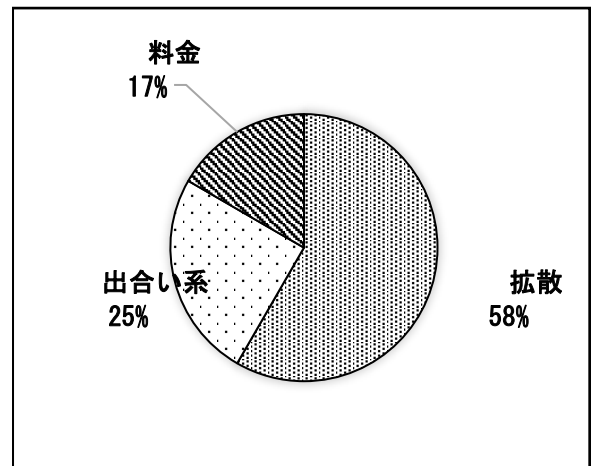
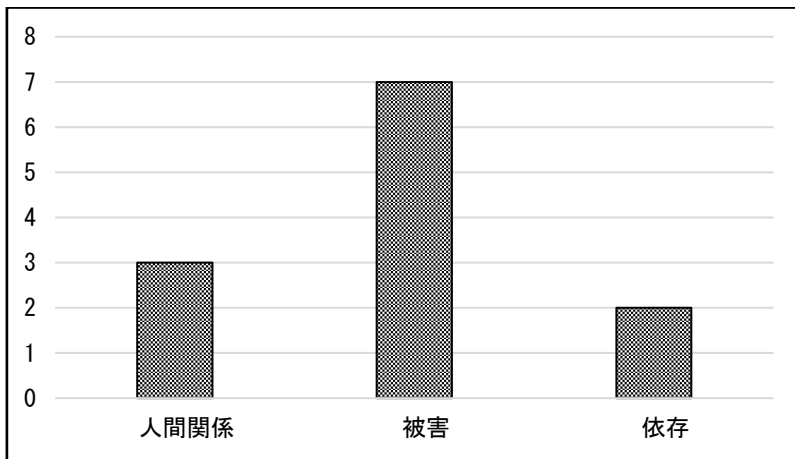


※虐待の関係性(誰とのことか)

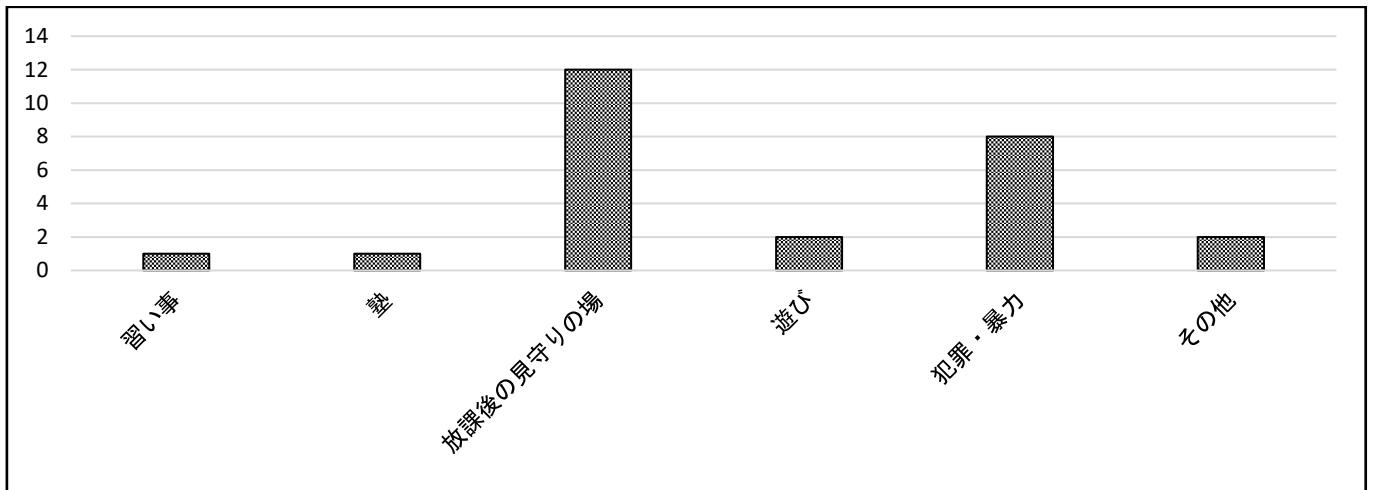
関係性	件数
友人・知人	1
実父	17
実母	19
養父	1
きょうだい	2
自分自身のこと	6
合計	49

⑤ ネットトラブルに関すること

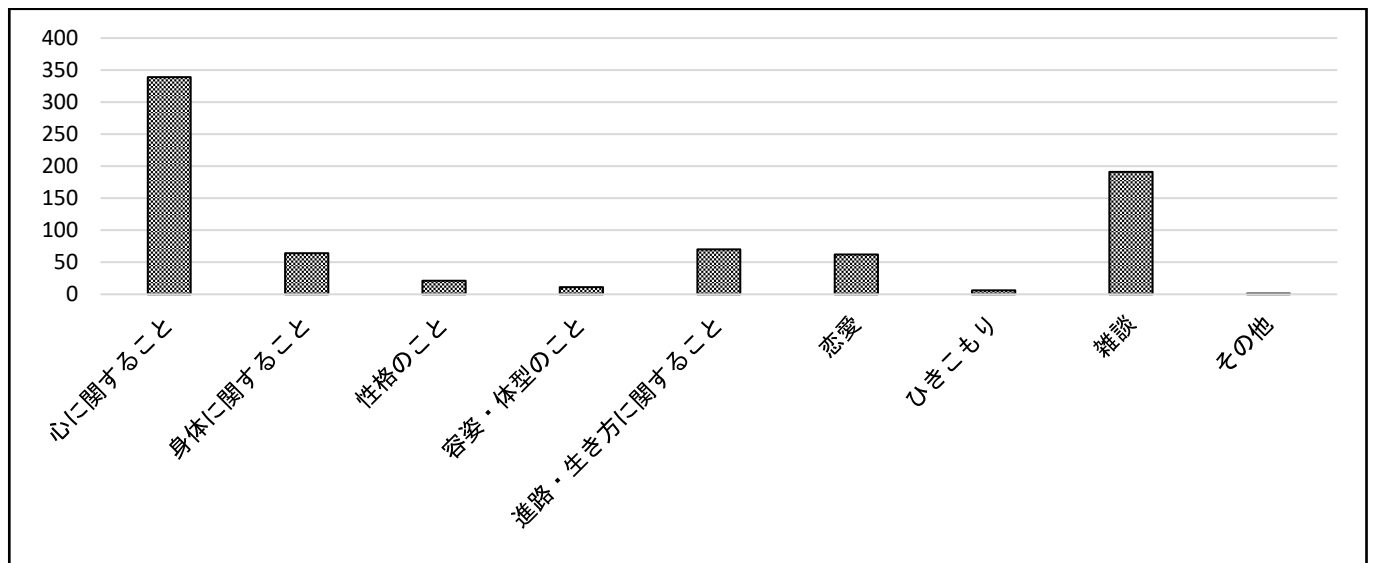
※ ネットトラブル被害（内訳）

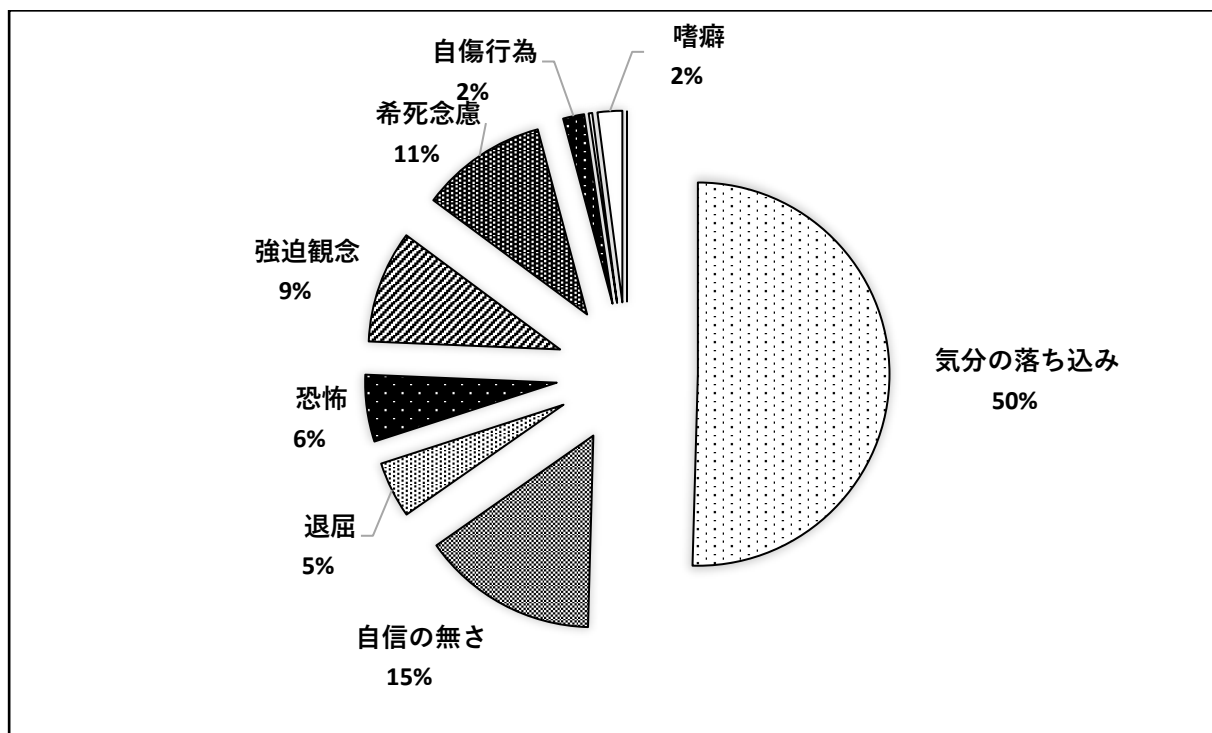


⑥ 地域でのこと



⑦ 自分のこと





## 7. 動機・関係性・気持ち

### ① 電話をかけた動機

どの年齢でも「聴いてほしい」が多くを占めます。「説教や指摘」を警戒して、本当に聴いてもらえるか？ 肯定してもらえるか？ と疑心暗鬼ながらも少しずつ自己開示する様子を感じます。

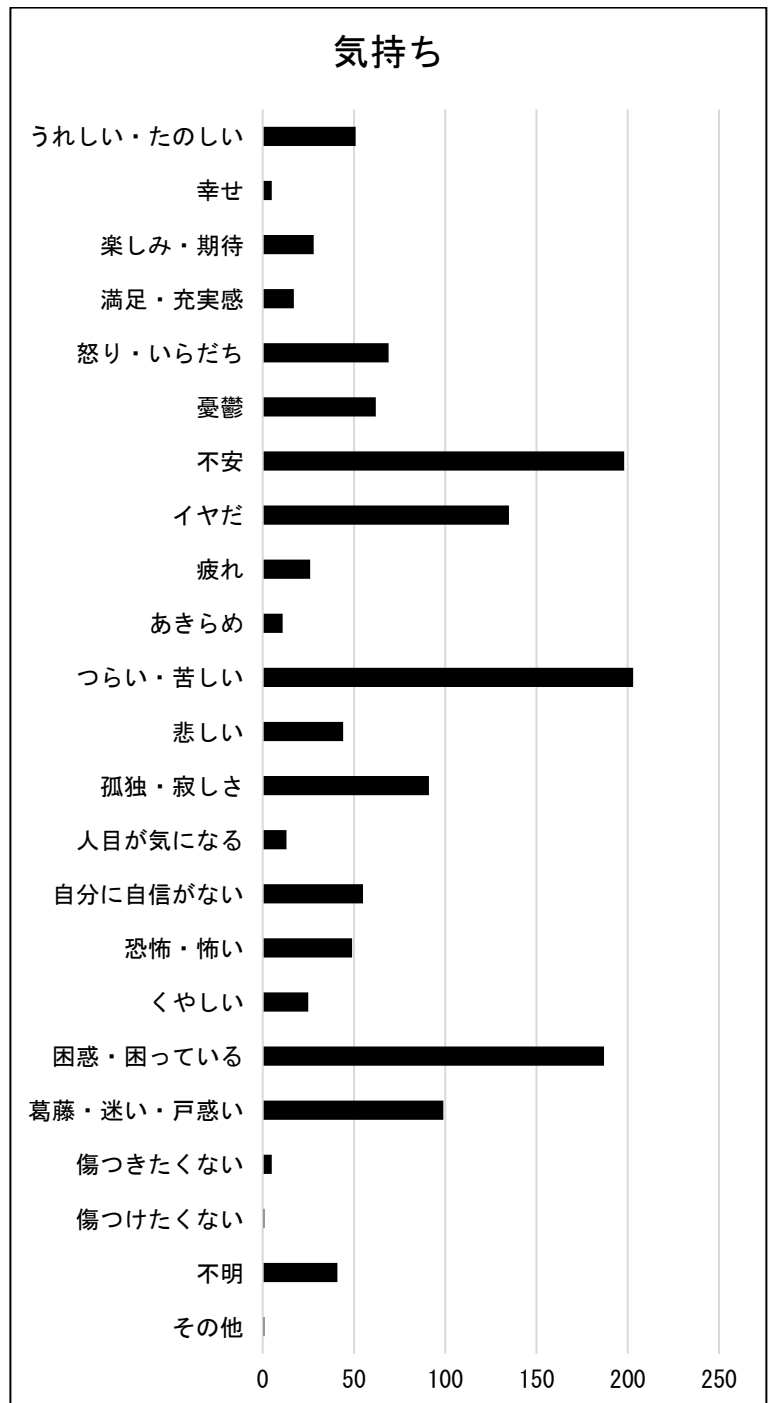
「答えがほしい」という電話でも、「子ども自身には解決する力がある」と信じ寄り添います。「誰かとつながってほしい」では、話す相手のいない子どもたちの寂しさが感じ取れます。

年齢/動機	話を聴いてほしい	答えが欲しい	誰かとつながってほしい	お試し	社会資源情報を求める	実際に動いて欲しい	チャイルドラインについて	合計
未就学	1	0	0	0	0	0	0	1
小学校低学年	55	12	1	9	0	0	1	78
小学校高学年	141	26	13	10	0	0	1	191
中学生	225	25	24	6	0	0	2	282
中卒～18歳	701	76	73	5	4	1	3	863
不明	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	1,124	139	111	30	4	1	7	1,416

② 誰との関係なのか

関係性	件数
友人・知人	202
恋人	9
先輩・後輩	17
同僚	3
実父	45
実母	90
養父	1
養母	4
きょうだい	24
義理のきょうだい	1
祖父	1
祖母	3
先生	38
顧問・指導者	8
近所の人	1
施設職員	1
知らない人	6
自分自身のこと	962
合計	1416

③ どんな気持ちでかけたのか



# II

## オンラインで子どもの声を聴く

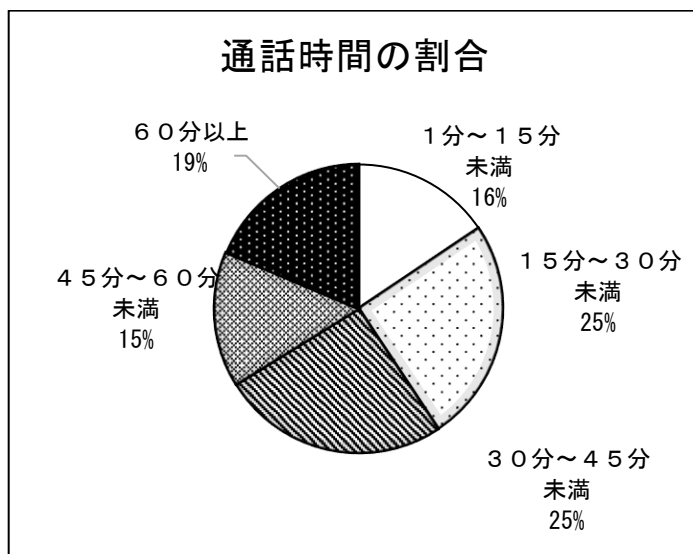
※チャイルドラインとちぎが受けたデータから

- ・実施日 2023年1月～2023年12月  
1月2月・・・第1第2第3木曜日  
3月・・・毎週木曜日  
4月～・・・毎週水曜日  
16:00～21:00を2シフト制で実施  
※全国的な不足日に参加 4/8 後半 4/21 前半  
※全国キャンペーンへの参加 8/27 8/29
- ・人数 受け手 24人 年間延べ 276人 支え手9人
- ・開設 開設日数 54日 開設時間 262.5時間×2台～3台  
件数 1,039件  
チャット時間 566時間(1台～3台のPC) 1件平均33分

### 1. 通話(通信)時間

文字での意思疎通には時間がかかり1時間を超える場合もあります。

通信時間	件数
1分～15分未満	197
15分～30分未満	372
30分～45分未満	246
45分～60分未満	106
60分以上	118
合計	1,039

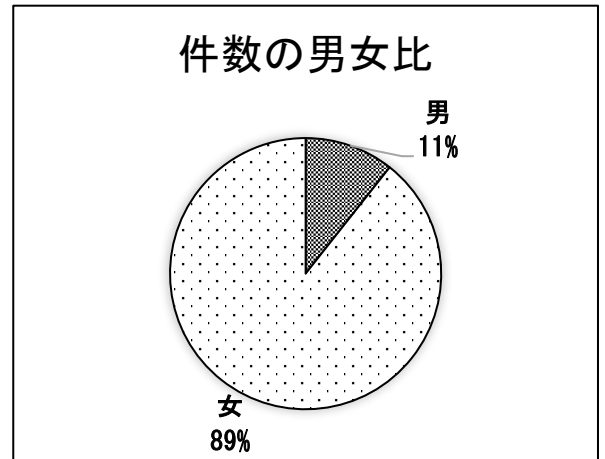


## 2. 性別、学齢

### (1) 通信時間・件数の男女比

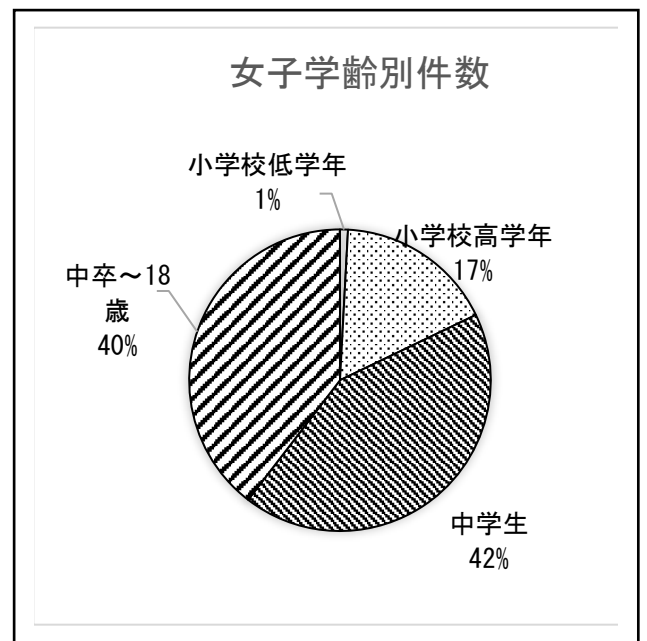
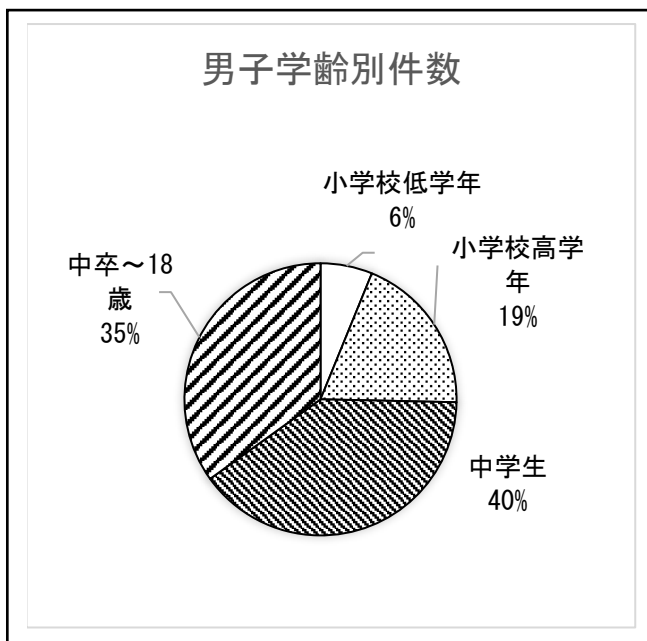
性別をみると 89%と圧倒的に女子が多いですが、平均通信時間にはそれほど大きな差はないようです。

性別	件数	通信時間	平均通信時間
男	146	4,853	33
女	864	28,830	33
不明	8	268.5	34
合計	1,039	33,952	33



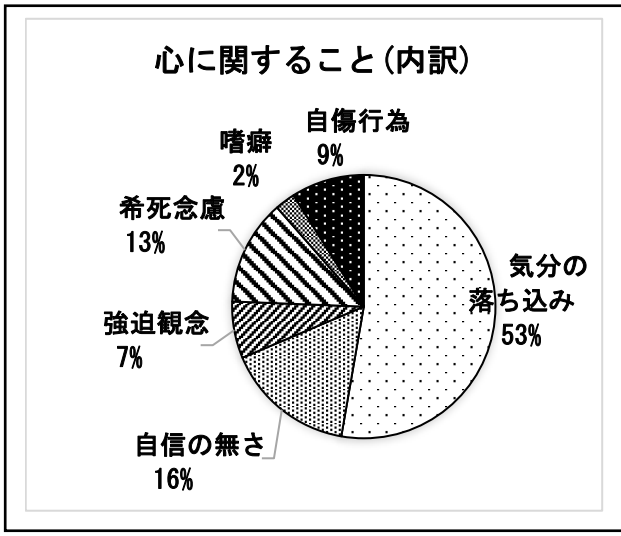
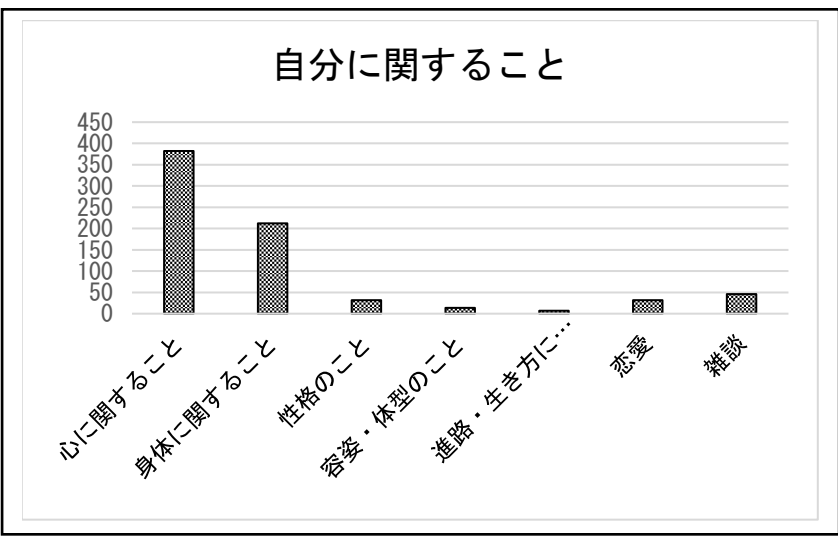
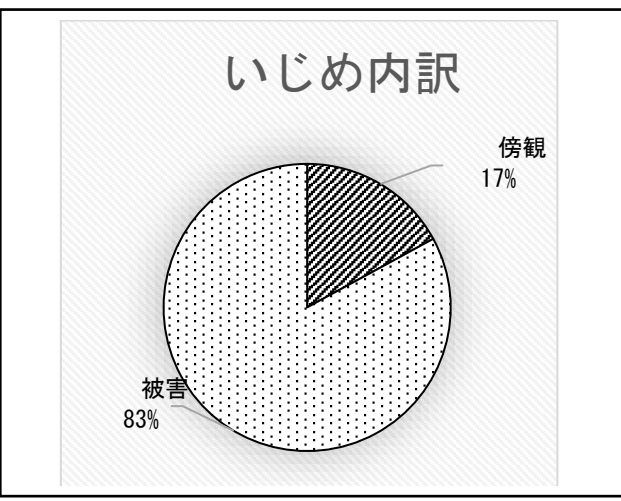
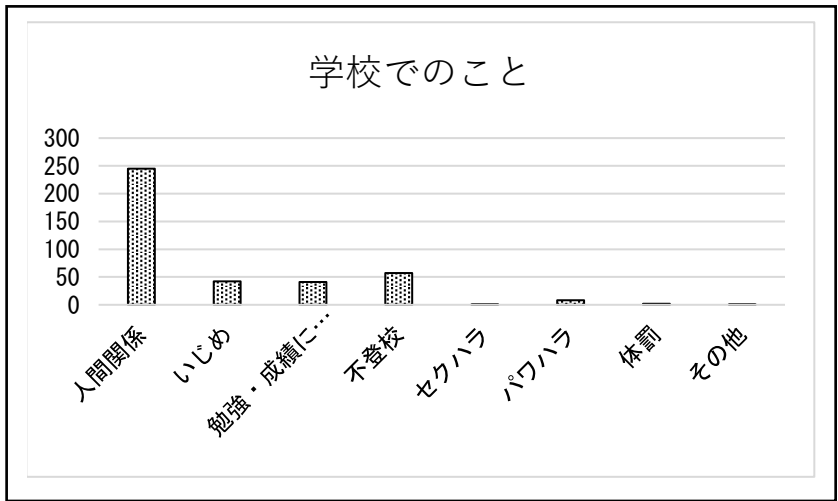
### (2) 学齢別件数の男女比

かけてきた子どもの学齢では、オンラインでは男女共に、中学生や高校生の割合が多くなっています。小学校低学年でも慣れないPCやタブレットで、時間をかけながら伝えようとする気持ちが伝わってきます。



件数	学校・フリースクール	部活	性	家庭	ネットト ラブル	地域	自分	合計
男	54	3	8	15	6	1	59	146
女	341	29	30	142	8	11	323	884
不明	2	0	7	0	0	0	0	9
合計	397	32	45	157	14	12	382	1,039

時間(分)	学校・フリースクール	部活	性	家庭	ネットト ラブル	地域	自分	合計
男	1,553	70	220	584	157	58	2,213	1853
女	10,956	1,007	1,060	4,924	280	331	10,281	2,8830
不明	81	0	188	0	0	0	0	269
合計	12,583	1,077	1,468	5,508	437	389	12,494	33,952





# III

## 栃木県の子どもがかけた電話

2023年1月～2023年12月

(他県の実施団体が受けた電話が含まれる)

総着信件数	827件	(1ヵ月平均 約69件)
通話	345件	(1ヶ月平均 約29件)

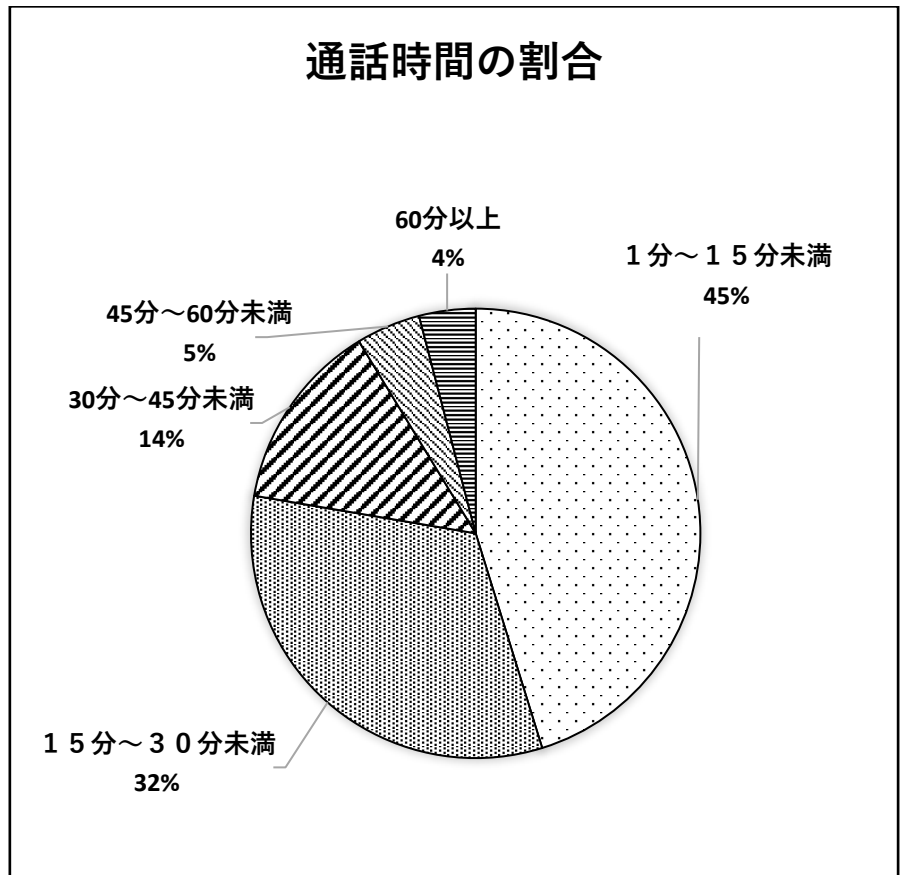
総通話時間 122時間

1ヶ月平均約10.1時間 平均通話時間 約21分

1. 着信数と通話時間

着信内訳	件数
会話成立	345
不成立・無言	482
総着信	827

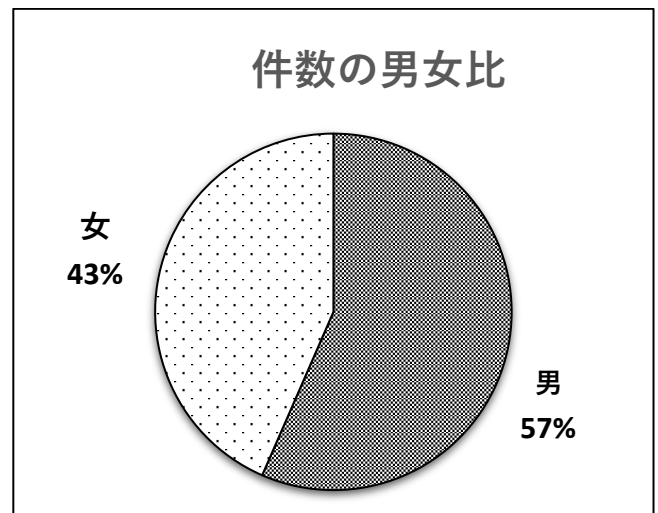
通話時間	件数
1分～15分未満	156
15分～30分未満	112
30分～45分未満	47
45分～60分未満	16
60分以上	14
合計	345

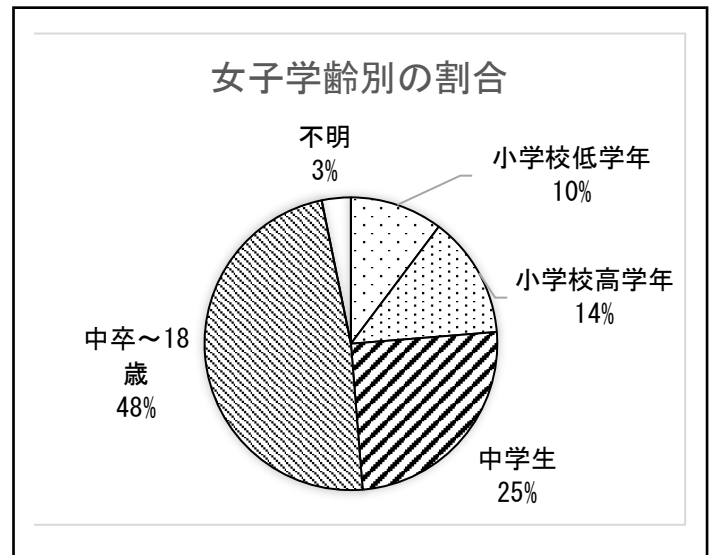
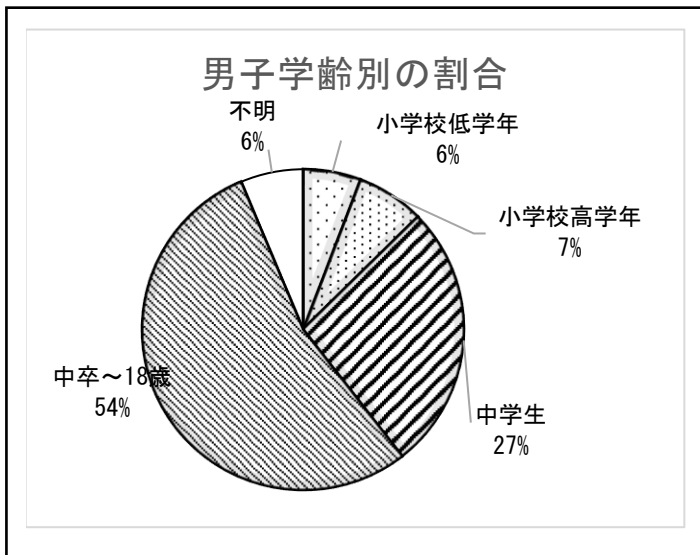


2. かけてきた子どもの年齢と男女比(栃木県の子ども)

1件あたりの通話時間は男子が約17分、女子が27分と女子のほうが長く話されています。かけてきた子どもの年齢では、男女ともに中学卒業～18歳の電話が多くなっています。

性別	通話件数	通話時間(分)	1件あたりの通話時間(分)
男	190	3,312	17
女	146	3,878	27
不明	9	102	11
合計	345	7,292	21

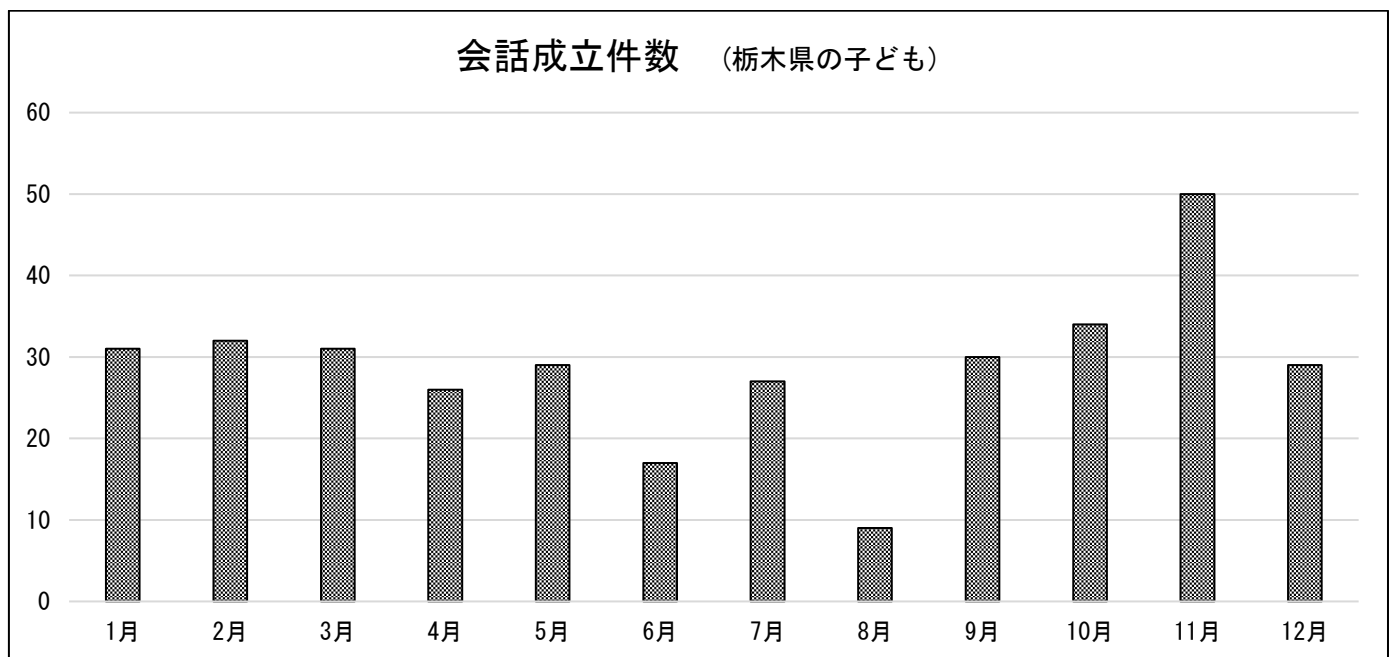




### 3. 月別件数と通話時間の推移

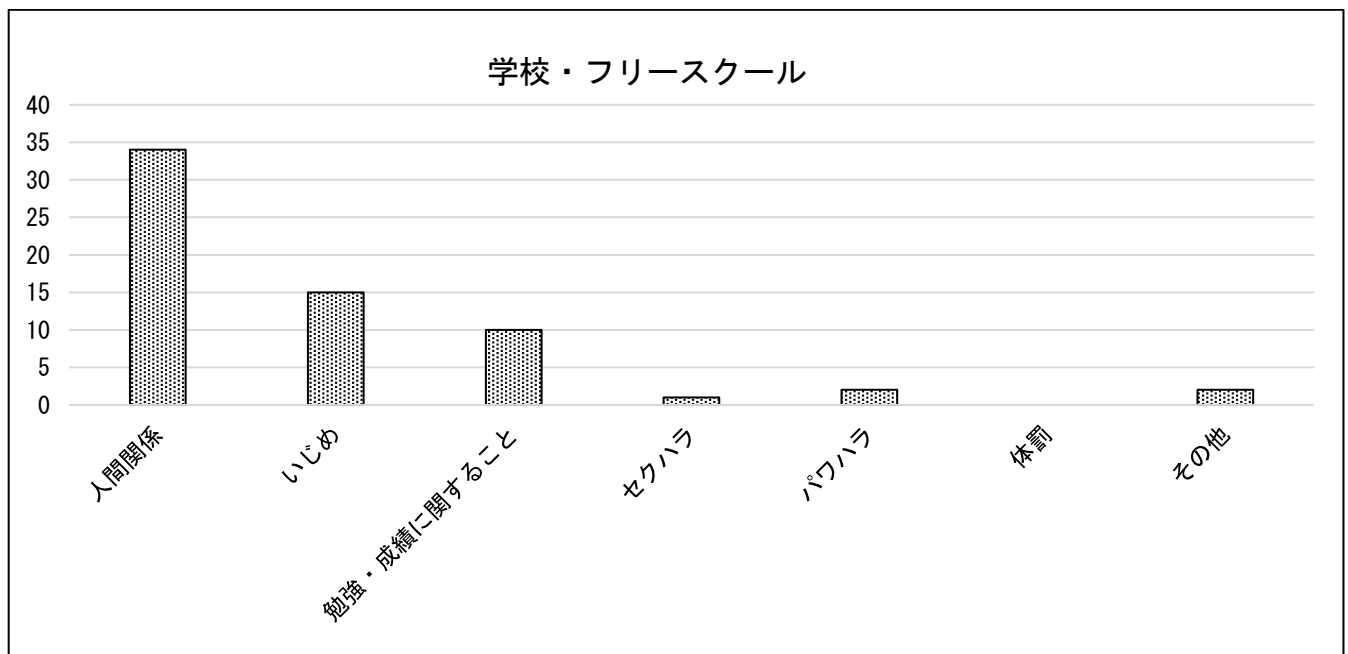
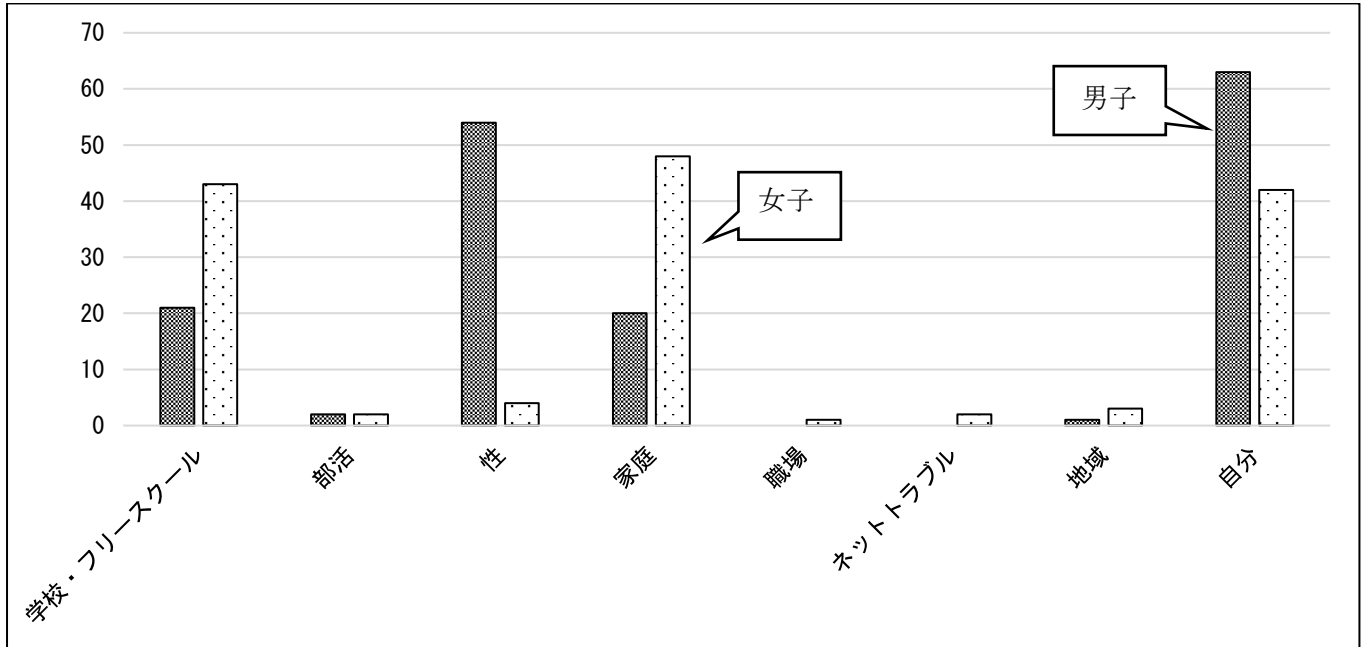
栃木県の子どもたちにフリーダイヤルの番号を知らせるカードの配布は、県内市町ごとにローテーションを組んでいます。夏休み期間は特に電話が少ないというのは、学校での問題が少なくなったということかもしれません。10月11月の件数が多くなっています。

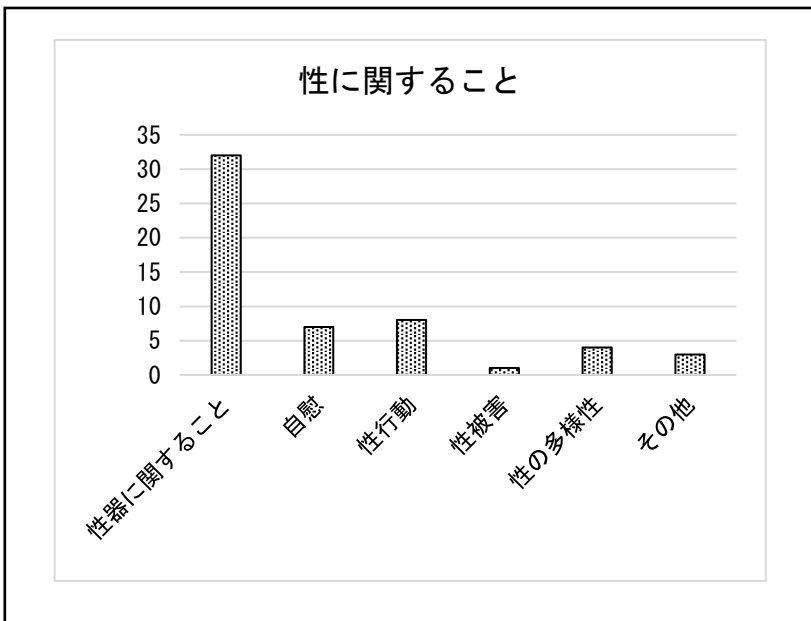
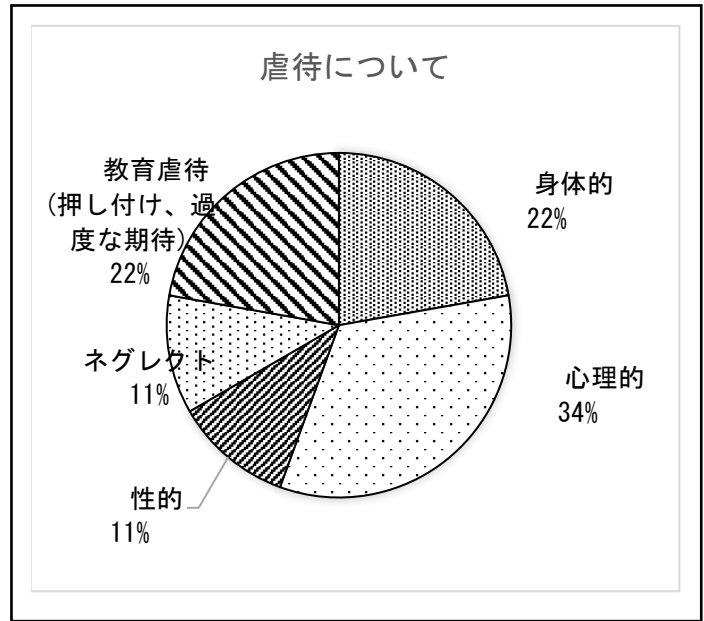
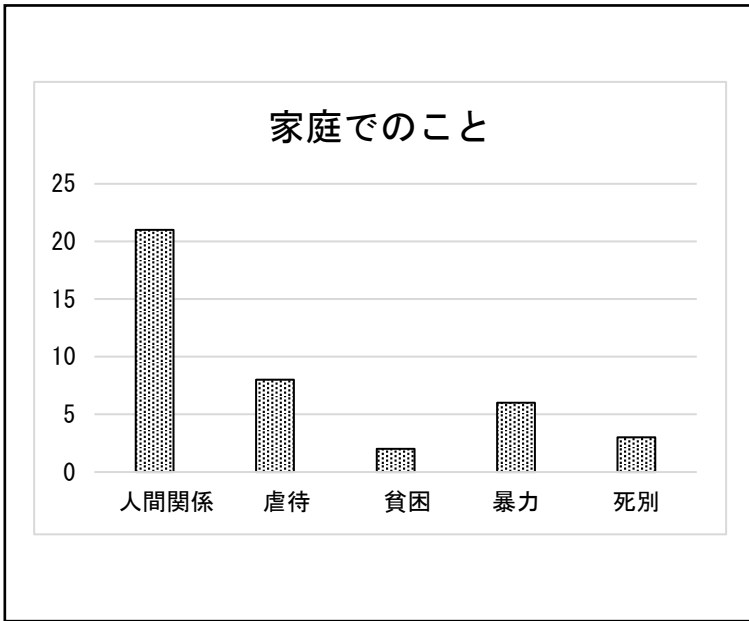
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計
会話成立	31	32	31	26	29	17	27	9	30	34	50	29	345
無言不成立	38	41	59	43	17	38	51	47	27	42	61	18	482
総着信	69	73	90	69	46	55	78	56	57	76	111	47	827
通話時間(分)	608	716	710	504	817	322	168	141	611	704	1,160	534	7,292



#### 4.どんな内容の電話か(栃木県の子ども)

男子は「自分のこと」が多く話されています。次いで「性」になっています。女子は「家庭でのこと」が多く話されています。次いで「学校」「自分のこと」になっています。





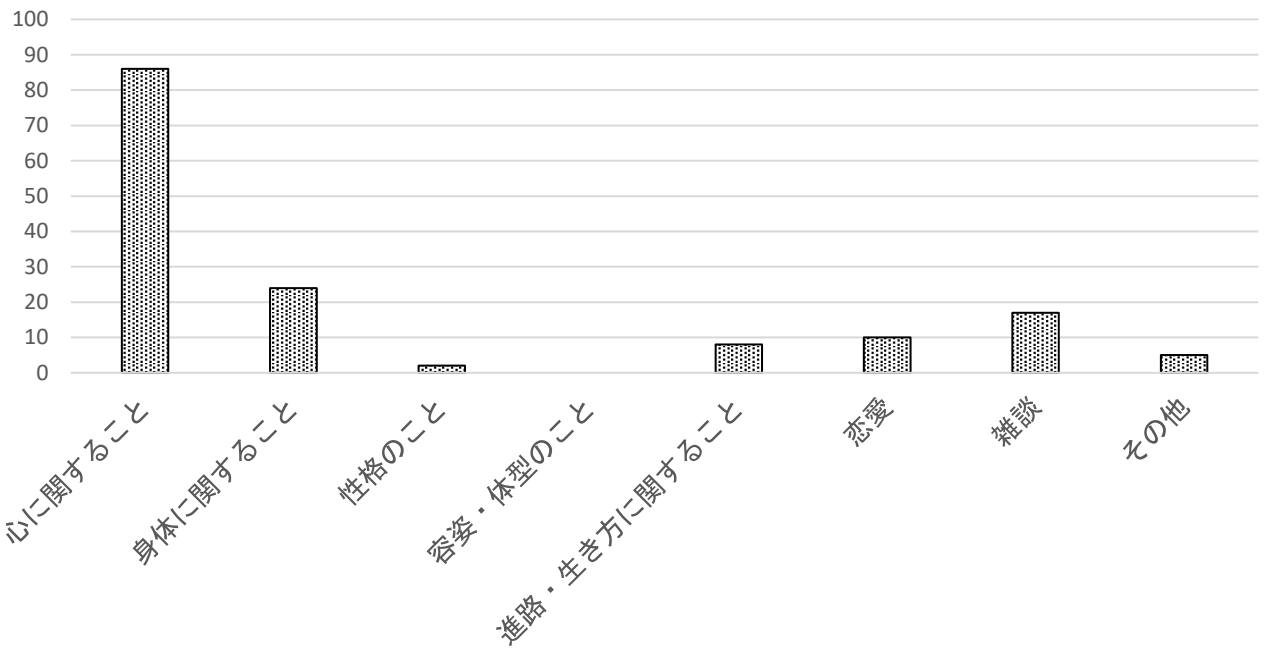
虐待の内訳

内容	件数
身体的	2
心理的	3
性的	1
ネグレクト	1
教育的	2
計	9

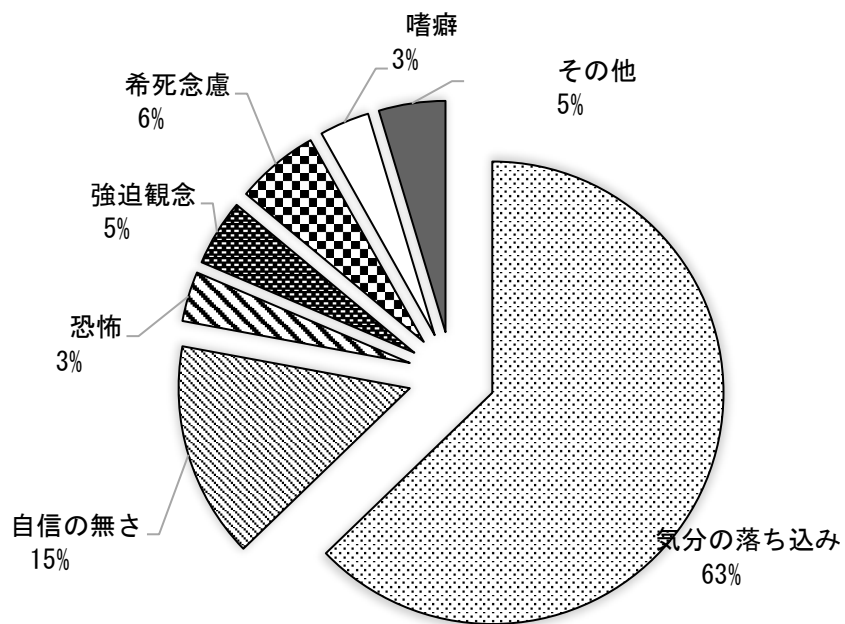
性に関しては、チャイルドラインとちぎが受けた全国の電話では「性の多様性」や「妊娠」が多くなっていますが、栃木県の子どもがかけた電話では「性器に関すること」が突出して多くなります。原因として一定のリピーターや大人が妨害電話としてかけている可能性があります。

虐待については、件数は多くはありませんが、件数では測ることのできない重大な問題を含んでいると考えられます。

### 自分のこと



### 心に関すること



# IV

## 子どもの声から

※プライバシーに配慮して内容は再構成しています。

メディアでは、ウクライナの戦火、そしてイスラエルやイランなど中東の情勢について毎日のように報じられています。こうした社会状況のもとで子どもたちは何を考えているのでしょうか。チャイルドラインにも不安の声が届いています。

「LGBTQ」については、タブー視されなくなった印象がありますが、一人で悩み誰にも相談できないと思う子どもたちは多いと感じます。ネット検索のみで「障害」を判断し、精神科に行くことで解決すると考える子どもたちも多く、情報の一人歩きの弊害を感じます。

「貧困やヤングケアラー」が社会問題となっていますが、家族の問題は表面化しにくく支援の手が届かないもどかしさを感じます。

子どもたちは「SNS」を使いこなしているように見えて、基本的な安全教育が不足していると感じます。ネットを通して生まれた人間関係は危うく、安全の死角になることもあると気づいてほしいと思います。

また一方で「受け手がやさしい気持ち」になる電話もあります。新入生の不安、日常の遊び、将来の希望や夢を語る姿に癒され心の中でエールを送らずにはられません。

## 自然や社会情勢

- ・ 恐ろしいニュースが多くて毎日不安。 中学
- ・ ウクライナの戦争をきっかけに、このままだと世界大戦になってしまうのではないかと。 高校
- ・ また戦争が始まった。日本にも戦争が起こったらと思うと怖くなる。 高校
- ・ お正月から地震があったけど、南海トラフにつながったらどうしよう。 中学
- ・ ガチの心配性で困っている。ニュースの事件も怖い。 高校

## 性別の違和感を抱えて

- ・ 体は女だけど自分は男。親に女の子らしい習い事をさせられてやめさせてもらえない。 小学
- ・ 自分はXジェンダー。彼氏もいたことはあったが性別の違和感が元々あって気づいた。 中学
- ・ 外見は男、中身は女。着替えや学校のトイレや体育の授業がつらいし誰に知られたくない。 高校
- ・ 体は男だが、自分が女だと思ふときがある。自分は気持ち悪い人間なのか。 中学

## 虐待・ヤングケアラー・貧困

- ・ 小さいときから父が暴力をふるう。すべての男の人が怖い。 中学
- ・ お父さんが殴ってきた。自分は発達障害だから仕方ないのかな。 中学
- ・ 両親が毎日殴ったりけったり、ケンカをしている。誰か止めてほしい。 小学
- ・ お母さんが病気で入院する。勉強も手につかない。お母さんが優しいのも悲しい。 中学
- ・ 障害のある弟がいる。自分が我慢するしかないのか。 高校
- ・ 妹の面倒をみるのに疲れてしまった。シングルマザーの母は朝から夜まで働いている。 高校
- ・ お腹がすいた。母が食事を作ってくれない。学校があるときは給食があるが。 中学
- ・ ガスが止まった。お金がないから止まる。電気も時々とまる。 中学

## 学校に行きたくない

- ・ 不登校になり適応教室に通っている。人とかかわるのがつらいのでそこもつらい。 小学
- ・ 今、不登校。将来一般的な人生が送れるのか不安。 中学
- ・ 学校を休んでいる。ゲームをしているとつらい気持ちを忘れられるのにダメだと言われる。 小学
- ・ 親に明日は学校に行くのかと聞かれる。学校を休むことは逃げることなのでしょうか。 小学



### 心の病や障害を抱えて

- ・現実と夢の区別がつかない。人を殺す妄想をしてストレスを発散している。中学
- ・統合失調症で毎日つらい。頑張っていない自分は価値がないと思う。高校
- ・摂食障害で食べ始めるとやめられない。そんな自分がいやでたまらない。中学
- ・しんどい。死にたい。毎日つらい。学校に行っている時はずっと緊張している。小学

### HSP・繊細とやさしさ

- ・考えすぎる性格で過去の失敗を思い返して死にたくなる。高校
- ・いい子でいるようにしつけられてきた。いつも相手のことを優先して、疲れてしまった。高校
- ・人とかかわるときに毎回気を使ってしまう。それがものすごく疲れる。中学
- ・話した後も人がどう受け止めるかをずっとひきずってしまう。やさしい人を卒業したい。高校

### ネットでのこと・影響

- ・ネットで自分の顔写真をご送信してしまった。何が起きるか怖い。中学
- ・知らない人に声をかけられてLINEを交換してしまった。デートに誘われた。高校
- ・会員登録無料となっていたのでクリックしたら39万円の請求の画面になった。高校
- ・ネットばかりしていたら母親に怒られた。子どもの人間関係も理解してほしい。中学
- ・人をみると「殺したい」と思ってしまう。「死のシーン」が頭に浮かぶ。殺し合いのゲームやYouTubeの「殺す」の検索をやめた。小学

### 希死念慮

- ・死ぬことしか考えられない。死んだら解放されると思うと楽になる。高校
- ・生きるのが辛い。逃げ道として漠然と自殺を考えてしまう。高校
- ・死にたい。切りたい。切ると安心する。半年前くらいからきっかけがなく眠れない。中学

### 自己肯定感

- ・自分は才能も特技もない。みんなそれぞれ持っているのに自分にはない。中学
- ・誰かに「あなたは必要」と言って欲しくて苦しいです。中学
- ・完璧でない自分が許せない。人に対しても警戒心が強く、先読みをして行動ができない。高校

## チャイルドラインとちぎのこれまで

2001年(平成13年)5月5日開設(毎週金曜日の15:00~23:00)

2007年(平成19年)5月から全回線フリーダイヤルになる。

2008年(平成20年)11月から全国統一フリーダイヤルで以後全国の子どもからの電話を受ける。

2010年(平成22年)チャイルドラインとちぎ設立10周年記念事業

2013年(平成25年)1月8日認定NPO法人として認定(県文第236-1号)

2018年(平成30年)8月から月に1回木曜日にオンラインチャットで子どもの声を受ける

2019年(平成31年令和元年)5月から月に2回(第1・第2木曜日)にオンラインチャットを開設する。

2021年(令和3年)チャイルドラインとちぎ設立20周年記念誌を発行する。

2022年(令和3年)7月以降オンラインチャットを第1第2第3木曜日・第2金曜日に開設

2023年(令和4年)4月「オンラインチャットの開設日を水曜日に変更」・8月「ネット電話開設」

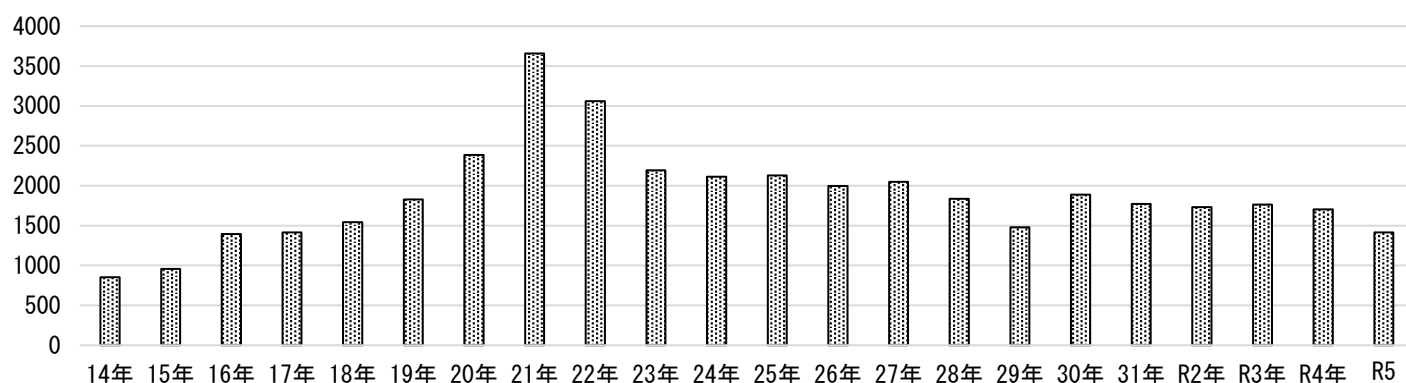
	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
通話	362	851	958	1,396	1,413	1,544	1,828	2,387	3,655	3,059
無言・他	141	831	1,204	1,207	1,452	2,027	2,628	3,627	4,808	4,875
計	503	1,682	2,162	2,603	2,865	3,571	4,456	6,014	8,463	7934
通話時間	112	245	225	330	298	326	453	579	919	819

	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年	R2年
通話	2,194	2,113	2,130	1,997	2,049	1,834	1,480	1,886	1,771	1,732
無言・他	4,620	5,235	5,897	7,383	7,522	8,014	5,764	4,857	4,246	4,704
計	6,814	7,348	8,027	9,380	9,571	9,848	7,244	6,743	6,017	6,436
通話時間	709	660	728	616	635	778	421	600	584	607

	R3年	R4年	R5年
通話	1,762	1,704	1,416
無言・他	4,773	5,190	6,046
計	6,535	6,894	7,462
通話時間	576	486	401

チャット	R2年	R3年	R4年	R5年
件数	317	411	605	1,039
通信時間	194	247	368	566

年間通話件数の推移



2023年 チャイルドラインとちぎの活動から

① 会員数

〈正会員〉 61人

〈支援会員〉 個人 61人 団体 21団体

② 理事 13名 ・ ・ ・ ・ 理事長：1名 副理事長：2名 ※ 監事：3名

③ 2022年度決算

収入 2,765,510円

〈主な内訳〉

会費	183,000円 ( 8%)
支援会費 (寄付)	1,593,226円 ( 62%)
補助金・助成金	660,080円 ( 29%)
事業収入	329,200円 ( 1%)
その他	4円 ( 0%)

支出 2,347,221円

〈主な内訳〉

<b>事業費</b>	<b>1,989,245円 ( 84%)</b>
子どもの声を聴く事業	1,499,258円
啓発事業	489,987円
<b>管理費</b>	<b>357,976円 ( 16%)</b>
※ 人件費	601,812円 ( 4%)



## 2024年チャイルドラインとちぎ年次報告

2024年5月発行

発行者 特定認定非営利活動法人チャイルドラインとちぎ

〒320-0837 栃木県宇都宮市弥生1-6-3

TEL 028-614-3253

E-Mail [info@cltochigi.org](mailto:info@cltochigi.org)

URL <https://www.cltochigi.org>